

## 原料費調整（スライド）制度に基づく2020年7月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

### 記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2020年7月検針分に適用される従量料金単価を、2020年6月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたりー0円18銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額5,677円（税込）となり、4円（0.07%）お支払額が減少します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2020年2月～2020年4月のLNG、プロパンの平均原料価格を2020年2月～3月の貿易統計確報値および2020年4月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は52,840円/tとなります。2020年6月検針分のガス料金調整額を算定した2020年1月～2020年3月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2020年2月～2020年4月の実績平均原料価格は、トンあたり190円下降することになり、料金調整は上記のとおりとなります。

●2020年7月検針分に適用される一般契約料金（消費税等相当額を含みます。）

2020年6月検針分の従量料金単価に対して、-0.18円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m <sup>3</sup> あたり)	
			2020年7月	2020年6月
A	0 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで	976.80 円	256.14 円	256.32 円
B	10 m <sup>3</sup> を超え 170 m <sup>3</sup> まで	1,593.46 円	194.47 円	194.65 円
C	170 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	4,690.18 円	176.25 円	176.43 円
D	500 m <sup>3</sup> を 超える	10,674.18 円	164.29 円	164.47 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2020年7月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合

2020年7月適用料金 (a)	2020年6月適用料金 (b)	増減 (c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
5,677 円	5,681 円	-4 円	-0.07%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2011年～2015年の月平均使用量です。

●平均原料価格推移 (円 / t)

	2020.2～2020.4	2020.1～2020.3	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格 (貿易統計値)	52,950	52,920	42,480
プロパン平均輸入価格 (貿易統計値)	45,250	50,930	39,600
平均原料価格 (LNG換算)	52,840	53,030	42,520

※平均原料価格=LNG平均輸入価格×0.9645+プロパン平均輸入価格×0.0390 (10円未満四捨五入)